PORT of FUSHIKI 2018

伏木港

日本海交流の魁け、環日本海交流の新時代を拓く

伏 木 港 海 運 振 興 会
伏木外港建設促進期成同盟会

日本海側港湾をリードする

MSCスプレンディダ（137.936t）

日本海に新しい海の道を開く、伏木港。

伏木港は、日本海沿岸の中央部富山湾の恵まれた位置にあり、能登半島の遮蔽効果により日本海側港湾としては、西側からの風浪の影響を受けにくい天然の良港です。風光明媚な中部山岳国立公園、能登半島国定公園にいだかれた自然の景観と共に、先人の英知とたゆみない努力により、古くから要港として栄えてきました。

天平18年（746）大伴家持が越中国守として着任した万葉の時代には、すでに港として利用されていました。また、寛文3年（1663）には、江戸幕府が全国に13港の船政所を置き、その一つに指定されました。

現在、その背後には、臨海工業地帯、石油配分基地を擁し、ロシアをはじめ対岸諸国との貿易港として、高岡市のみならず、広く県内外の社会経済発展の一翼を担っています。

また、近年は大型クルーズ船の寄港地としても対応しています。平成29年（2017）に万葉2号岸壁改良工事が完成したことにより、22万トン級のクルーズ船の受け入れが可能となりました。

Historical Outline

Blessed by its favorable location at the center of the Japan Sea Coast in Toyama Bay, and sheltered from westerly winds by the Noto Peninsula, Fushiki is in a naturally good location for a port.
Aside from its favorable location, surrounded by many beautiful National Parks, the Port of Fushiki has also been able to prosper thanks to the wisdom and unrelenting efforts of the ancestors from the area.
The port was already in operation during the Manyo Era, when Otomo no Yakamochi was appointed as governor of the region in 746. Furthermore, Fushiki was also appointed as one of the 13 government ports selected by the Edo shogunate.
At present, as an important base for oil distribution and located in a coastal industrial zone, we hope that as a port of trade with countries such as Russia, there will be further socioeconomic development in not only Takaoka City, but also extensively, inside Toyama Prefecture and even further afield.
Furthermore, Fushiki has also been operating as a port of call for large cruise ships in recent years.The improvement work at Manyo Quay No. 2 was completed in 2017, and it can now receive 22,000-ton class cruise ships.

【伏木の場所】東経137°04' 03"、北緯36°47' 29"、富山湾の西南、小矢部川の河口にあります。

【伏木港（内港）】（港則法施行規則）小矢部川の河口両防波堤突端を結んだ線、城光寺橋、内川と庄川との接続線及び陸岸により囲まれた海面並びに河川水面。

【伏木港（外港）】内港を除いた港域内の海面及び河川水面（航路を除く）。

【国　分　港】国分東防波堤、同防波堤突端と国分西防波堤突端とを結んだ線、国分西防波堤及び陸岸により囲まれた海面。

【地　　質】全地の海底は泥土の堆積にして、その下部は砂と粘土の混合により硬化したものであり、投錨に適しています。

【波　　浪】富山湾に生ずる波は、地形的な特徴から、外海から湾内に進入してくる北～北東方向の波浪と、湾内の風で発生する湾内波が多く、冬季風浪の激しい日本海側の中でも、他の日本海側沿岸地域と比べ、比較的穏やかです。

【潮流及び潮差】潮の干満の差は日潮差30cm程度ときわめて少なく、潮流は防波堤外で年間を通じ西から東へ流れ、流速は0.5～1.0ノット前後と穏やかです。

【気　　象】年間を通じて穏やかで、平均気温は約14℃、平均風速2.7m、更に三方を山々に囲まれているため、台風による被害はほとんどありません。

「総合的拠点港」として

伏木港位置づけ

法的な位置づけ ▶ 国際拠点港湾

港湾の秩序ある整備と適正な運営等を定めた「港湾法」において、国際海上貨物輸送網の拠点となる港湾として、伏木富山港は国内18港の一つとして定められています。

国の政策的な位置づけ ▶ 日本海側拠点港・総合的拠点港

国土交通省は、日本海周辺の対岸諸国の経済発展を取り込むことを目的に、平成23年11月に日本海側拠点港を選定しました。

その中で、伏木港は「国際フェリー・国際RORO船」、「外航クルーズ（背後観光地クルーズ）」の機能別拠点港として選定されました。更に伏木富山港は選定された機能に加え、総合的に機能強化を図り、日本海側港湾をリードする「総合的拠点港（国内5港）」として選定されています。

Fushiki Port – A Specially Designated Port

Designated under the Port and Harbor Act An International Maritime Hub

In line with the Port and Harbor Act, which stipulates the proper operation and orderly maintenance of Ports and Harbors, Toyama Fushiki Port was chosen as one of 18 Japanese Ports to be a hub for the International Maritime Freight Transportation Network.

In line with National Policies A Maritime Hub on the Japan Sea Coast / Specially Designated Major Port on the Japan Sea Coast

Toyama Fushiki Port was designated by The Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism as a major port on the Japan Sea Coast, with the aim of furthering economic ties with foreign countries in the region.

The Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism appointed Fushiki Port as a comprehensive hub port along the Sea of Japan in November, 2011, in an effort to stimulate economic ties with countries located across the Sea of Japan.
In addition to this, Fushiki Port has been designated as a multi-functional hub for international ferries/international Roll-On Roll-Off ships, and international cruises related to sightseeing. Furthermore, Fushiki Port Toyama Bay was also selected as one of the five nationwide Comprehensive Hub Ports, acting as the leading port along the Sea of Japan for it's strengthening of comprehensive functions, in addition to the port's assigned capacities.

ロールオン・ロールオフ船「つるが」（11,193GT）

くらしと世界を結ぶ伏木港

伏木港の特色

1）伏木港は自然状況に優れているので、四季を通じてたやすく接岸荷役作業ができます。

2）船車荷役用としての起重機を有するほか、各種荷役機械を完備しています。

3）海陸荷役を船車一貫作業により行うため、荷役は迅速であり、荷役コストは低廉です。

4）伏木港右岸に鉄道貨物駅があり、鉄道貨物輸送も円滑です。

5）日本海沿岸のほぼ中央部にあり、かつ関東・関西・中京の経済圏と高速道路等幹線道路ネットワークを持ち、ほぼ等距離にあるので、海運、陸運とも絶好の位置にあります。

Features

1) Fushiki Port is blessed with favorable natural conditions, ensuring effective cargo handling through the year.

2) The pot is well equipped with cranes and various other pieces of machinery used when handling cargo.

3) Loading and unloading of cargo is smooth, fast and cost effective, due to the an integration cargo handling system connecting both land and sea.

4) A freight station can be found on the right side of Fushiki Port, ensuring smooth transportation of goods via railway.

5) Found in the center along the coast of the Sea of Japan, located in between the major economic regions of Tokyo, Osaka, and Nagoya, connected by a network of major roads and highways, Toyama is situated in an area perfect for both inland and overseas transportation.

環日本海・東アジア諸国図

この地図は富山県が作成した地図を転載したものである。（平24情使第238号）

交通ネットワーク

入港船舶（平成29年）

※漁船を除く

船種別		隻数	総トン数
外航商船	外国船	86	571,195
	日本船	1	50,142
	計	87	621,337
内航商船		252	780,446
その他		20	12,064
合計		359	1,413,847

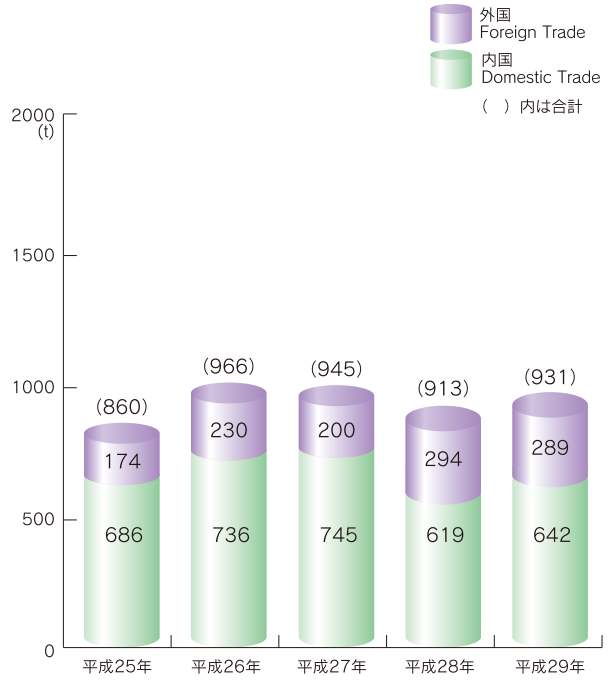
入港最大船舶（平成29年）

国籍	船名	総トン数
イギリス	DIAMOND PRINCESS（ダイヤモンド・プリンセス）	115,906

国籍別外航船隻数（平成29年）

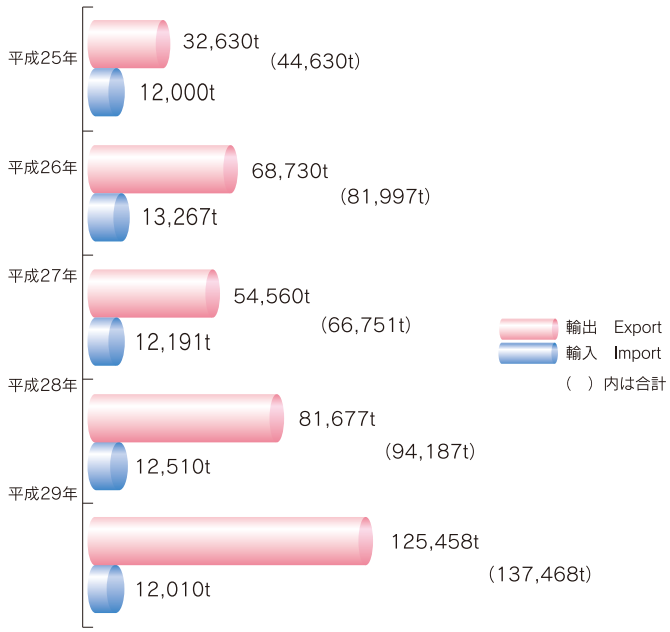
国名	隻数
韓国	7
シエラレオネ	3
パナマ	45
ベリーズ	11
モンゴル	5
ミクロネシア連邦	2
トーゴ	8
バハマ	1
イギリス	1
キリバス	2
ジャマイカ	1
合計	86

取扱貨物量（単位:千トン）
Handling Cargo Volume

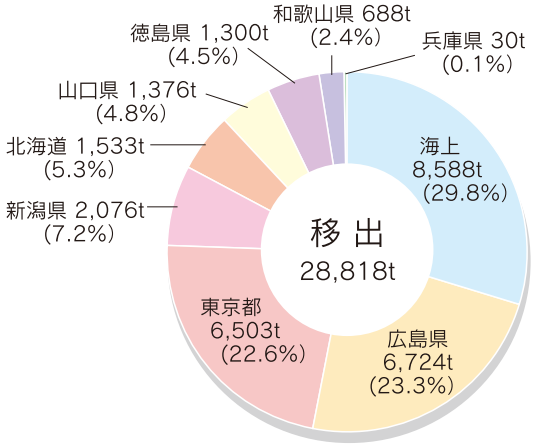


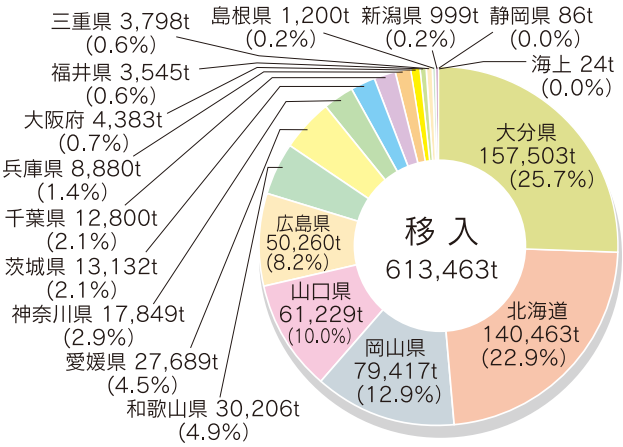
※数値は四捨五入したもので表記

伏木港とロシアの出入貨物取扱量
Fushiki-Russia Cargo Volume Handled

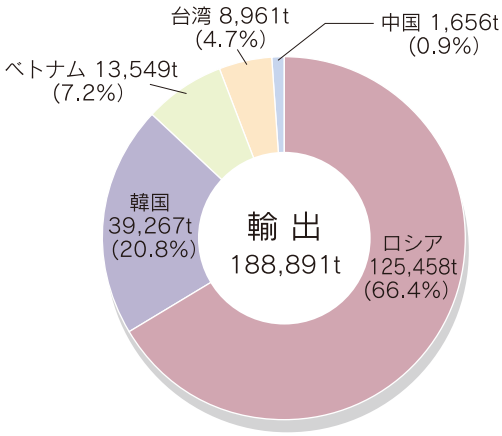


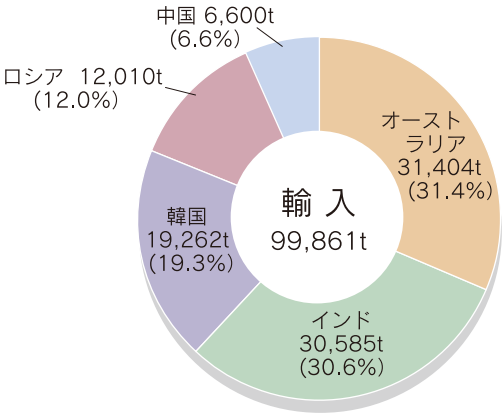
内国貿易（平成29年）
Domestic Trade





外国貿易（平成29年）
Foreign Trade





伏木外港国際物流ターミナル

品種別出入貨物（平成29年）

（単位：トン）

	外国貿易			内国貿易			輸移出	輸移入	合計
	輸出	輸入	計	移出	移入	計			
合計	188,891	99,861	288,752	28,818	613,463	642,281	217,709	713,324	**931,033**
農水産品	0	0	0	0	24	24	0	24	**24**
水産品			0		24	24	0	24	**24**
林産品	0	0	0	30	0	30	30	0	**30**
原木			0	30		30	30	0	**30**
鉱産品	2,164	75,989	78,153	0	74,748	74,748	2,164	150,737	**152,901**
石炭		12,000	12,000			0	0	12,000	**12,000**
金属鉱		9,585	9,585			0	0	9,585	**9,585**
砂利・砂			0		18,955	18,955	0	18,955	**18,955**
原塩		52,404	52,404		50,260	50,260	0	102,664	**102,664**
非金属鉱物	2,164	2,000	4,164		5,533	5,533	2,164	7,533	**9,697**
金属機械工業品	125,458	3,510	128,968	6,724	86	6,810	132,182	3,596	**135,778**
鉄鋼		3,500	3,500			0	0	3,500	**3,500**
非鉄金属			0	6,724		6,724	6,724	0	**6,724**
完成自動車	125,250	10	125,260			0	125,250	10	**125,260**
二輪自動車	208		208			0	208	0	**208**
電気機械			0		86	86	0	86	**86**
化学工業品	0	20,362	20,362	4,297	537,606	541,903	4,297	557,968	**562,265**
重油			0	688	82,658	83,346	688	82,658	**83,346**
石油製品		10,033	10,033		450,246	450,246	0	460,279	**460,279**
その他石油製品		8,229	8,229	2,076	1,449	3,525	2,076	9,678	**11,754**
化学薬品			0		3,253	3,253	0	3,253	**3,253**
化学肥料		2,100	2,100	1,533		1,533	1,533	2,100	**3,633**
軽工業品	1,656	0	1,656	16,391	999	17,390	18,047	999	**19,046**
紙・パルプ	1,656		1,656	7,803	999	8,802	9,459	999	**10,458**
水			0	8,588		8,588	8,588	0	**8,588**
特殊品	59,613	0	59,613	1,376	0	1,376	60,989	0	**60,989**
金属くず	59,613		59,613			0	59,613	0	**59,613**
輸送用容器			0	1,376		1,376	1,376	0	**1,376**

環日本海交流時代のゲートウェイ

伏木万葉ふ頭に設置された
水平引込クレーン式アンローダー

ソーラス条約に基づく
保安対策が施された伏木外港

荷役機械 Cargo Handling Facilities

位置	種別	用途別	台数	揚力	時間あたり能力	所有者
万葉3号岸壁	水平引込式起重機	鉱石類、その他	1	12.5	500トン	伏木港荷役施設管理運営組合

上屋・倉庫 Cargo Sheds & Warehouses

種別	区分	棟数	床面積
上屋	公共	5	7,649㎡

公共岸壁※ Public Quays

名称	延長(m)	水深(m)	エプロン幅(m)	けい留能力	
				重量トン数	バース数
万葉1号岸壁	130	7.5	20.0	5,000	1
万葉2号岸壁	190	10.0	20.0	15,000	1
万葉3号岸壁	280	14.0 (12.0)	20.0	55,000 (30,000)	1
左岸1号岸壁	160	9.5	13.4	10,000	1
左岸2号岸壁	150	9.5	13.4	10,000	1
左岸3号岸壁	185	10.0	11.0	15,000	1
左岸4号岸壁	185	10.0	11.0	15,000	1
左岸5号岸壁	90	5.0	10.0	1,000	1
右岸1号岸壁	220	7.5	10.0	5,000	2
右岸2号岸壁	220	7.5	10.0～14.5	5,000	2
右岸3号岸壁	185	10.0	11.0	15,000	1
右岸4号岸壁	185	10.0	14.0	15,000	1
右岸5号岸壁	130	7.5	12.0	5,000	1
国分1号岸壁	95	5.5	6.0	2,000	1
国分2号岸壁	65	5.0	6.0	1,000	1
国分3号岸壁	140	5.0	7.5	1,000	2

万葉3号岸壁は暫定水深12mで供用中。

防波堤等 Breakwater etc.

名称	延長
右岸防波堤	130m
左岸防波堤	45m
国分東防波堤	434m
国分西防波堤	276m
湊町防潮堤	1,177m
右岸波除堤	50m
国分東波除堤	24m
国分防砂堤	60m
右岸導流堤	420m
東防波堤	105m
北防波堤	1,650m
左岸導流柵	195m
吉久導流堤	333m

小型物揚場※ Small Unloading Berth

名称	延長(m)	水深(m)	エプロン幅(m)
新島3号物揚場	16	3.0	6.5
新島1号物揚場	200	3.0	6.0
新島2号物揚場	80	2.0	6.0
内川物揚場	165	1.5	6.7
右岸1号物揚場	174	1.5	6.7
右岸2号物揚場	43	1.5	6.7
右岸3号物揚場	135	2.5	6.7
右岸4号物揚場	62	2.5	6.7
右岸5号物揚場	202	2.5	4.0
右岸6号物揚場	87	2.0	4.9
吉久物揚場	250	2.0	9.0

泊地※ Anchorage

名称	水深(m)	水面積(㎡)
1号泊地	3.5 ～ 9.5	184,200
2号泊地	7.0 ～ 9.0	3,400
3号泊地	3.0 ～ 7.0	33,800
4号泊地	4.0 ～ 5.0	7,700
7号泊地	5.5	41,400
8号泊地	5.0	10,000
9号泊地	14.0 (12.0)	358,000
10号泊地	10	26,000

9号泊地は暫定水深12mで供用中。

※伏木地区は外港展開を図っており、内港の公共岸壁（左岸、右岸、国分）、小型物揚場、泊地（1～8号）は一部水深が浅くなっています。
詳細は富山県伏木港事務所（TEL0766-44-0277）まで問い合わせてください。

曳船・艀 Tug Boat & Lighter

名称	船の名称または隻数	トン数または馬力
本船繋船用曳船	日本海	1,550PS×2
〃	らいちょう	2,000PS×2
〃	長田丸	1,800PS×2
〃	伏木丸	350PS
艀・筏用曳船	2隻	105PS

木材整理場・油槽所 Lumberyard & Oil Storage

種別	区分	箇所		面積または容量
木材整理場	公共	水面	1	48,183㎡
油槽所（元売のみ）	民間	2社		K/L 61,180（休止タンク含む）

野積場 Open Storage

種別	区分	個所数	面積(㎡)
野積場	左岸	6	21,065
	右岸	13	25,669
	万葉	4	93,918
	計	23	140,652

新時代に向けて

伏木外港プロジェクト

伏木港は小矢部川の河口港として発展してきた港湾ですが、①河口港の宿命である埋没浚渫からの脱却、②船舶の大型化への対応、③震災発生時への対応を図るため外港展開を進めています。

整備状況

港内静穏度を確保する北防波堤と、万葉1～3号岸壁が完成し、大型船舶の受け入れも可能となっています。また、取扱貨物を円滑に輸送するための臨港道路の整備も進み、伏木外港から小矢部川を通過する伏木万葉大橋までの区間が供用されています。

主要施設

岸　　壁：[A工区]-7.5m×130m(万葉1号)、-10m×190m(万葉2号)
[B工区]-14m×280m(万葉3号)※1（耐震）
[C工区]※2-12m×240m(万葉4号)、-10m×170m(万葉5号)
用　　地：[A工区]ふ頭1.6ha、港湾関連8.1ha、工業4.5ha
[B工区]ふ頭9.3ha、港湾関連4.5ha、危険物5.9ha
[C工区]※2ふ頭12.6ha、港湾関連3.4ha
※1 万葉3号岸壁、泊地（-14m）は、暫定水深12m供用中
※2 C工区は未整備

防 波 堤：北防波堤1,650m、東防波堤105m、
西防波堤460m（整備中）
泊　　地：-14m×40.9ha※1、-12m×8.1ha、-10m×5.0ha
道　　路：伏木外港1号線、伏木万葉1号線、伏木万葉2号線
伏木万葉3号線（整備中）
緑　　地：20.9ha（未整備含む）
（H30.3 軽易な変更）

日本海側拠点港の形成

国際フェリー・国際RORO

・機能計画

対外諸国との新物流ルートや国内物流ネットワークの充実による新たな物流サービスを提供することで、国際フェリー・国際RORORoの定期運航を目指します。

・整備計画（伏木港）

万葉3号背後ふ頭用地、シーアンドレール関連施設（小口積替施設・鉄道延伸）

外航クルーズ（背後観光地のクルーズ拠点）（総トン数22万t級のクルーズ船の受入が可能）

・機能計画

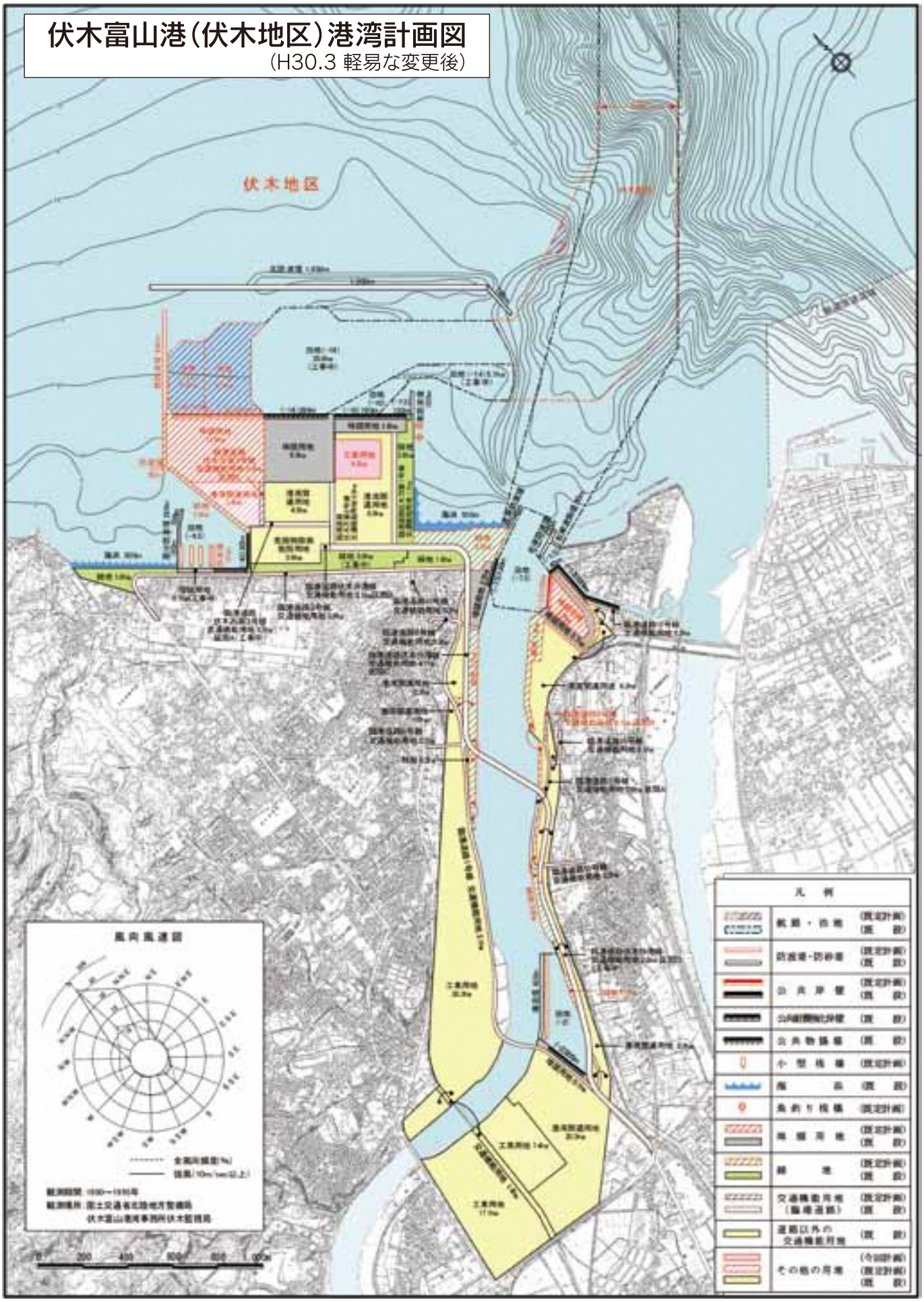
特色ある背後観光地を有する小樽港、秋田・船川・能代港、伏木富山港、京都舞鶴港、境港が連携し、クルーズ観光拠点港として国際競争力の強化を図り、クルーズ船の寄港頻度の向上を目指します。

・小樽港、秋田・船川・能代港、伏木富山港、京都舞鶴港、境港との連携

これらの5港の連携は、美しい日本の四季の自然・文化・食の魅力を提供し対岸諸国発観光クルーズの大きな誘引力となります。

それぞれの港に外航クルーズ船が寄港しており、伏木港における過去最大のクルーズ船は「ボイジャー・オブ・ザ・シーズ」※で平成25年9月に本州日本海側の港の中で初寄港し、平成27年5月に二度目の寄港となりました。

※全長311m、総トン数（GT）138,194t、総乗客定員4,269人（全ベッド使用時）
※平成30年5月寄港のMSCスプレンディダは、全長333mで過去最長（総トン数137,936t、総乗客定員3,929人）


伏木富山港（伏木地区）港湾計画図
（H30.3 軽易な変更後）
伏木地区
凡例
風向風速図

提供：国土交通省伏木富山港湾事務所（平成30年3月12日撮影）

伏木港 Port of Fushiki

1. 北防波堤
2. 伏木万葉ふ頭緑地
3. 万葉岸壁
4. 国分石油基地
5. 国分岸壁
6. 国分港
7. 左岸岸壁
8. 左岸上屋
9. 富山県伏木港事務所
10. 伏木港湾合同庁舎
11. 伏木コミュニティセンター
12. 吉久船だまり
13. 伏木港大橋
14. 小矢部川
15. 右岸上屋
16. 右岸岸壁
17. JR高岡貨物駅
18. 庄川
19. 伏木万葉大橋
20. 国分浜
21. 荷役機械

1. North Breakwater
2. Fushiki Manyo Pier Green land
3. Man'yo Quay
4. Kokubu Oil Bases
5. Kokubu Quay
6. Kokubu Port
7. Left Quay
8. Cargo sheds at left Wharf
9. Prefectural Office for the Fushiki Port
10. United Port Office of the prefecture
11. Fushiki Community Center
12. Yoshihisa dock
13. Fushiki Bridge
14. Oyabe River
15. Cargo Sheds at Right Wharf
16. Right Quay
17. JR Takaoka Freight Staion
18. Sho River
19. Fushiki Manyo Bridge
20. Kokubu Beach
21. Cargo Crane

伏木港の歴史

天平18年（ 746）	歌人大伴家持が越中国守として着任。この頃、すでに港として利用されていた。
寛文 3年（1663）	江戸幕府より、全国の船政所13港の一つとして指定された。
明治22年（1889）	特別輸出港に指定。米、麦、石炭、硫黄等を海外へ輸出した。
明治27年（1894）	特別貿易港に指定。ロシア領沿岸州、樺太及び朝鮮との貿易で栄えた。
明治32年（1899）	開港場に指定。外航船の出入りで港が活況を呈した。
明治45年（1912）	伏木港へ流出する庄川を分離する切替工事が竣工。
大正10年（1921）	第二種重要港湾指定。
昭和15年（1940）	輸移出入貨物が年間186万トンに達し、日本海沿岸随一の港となった。
昭和26年（1951）	重要港湾に指定。伏木港整備3ヵ年計画に着手。岩崎鼻灯台（F.L.W5-1）を設置。
昭和29年（1954）	植物防疫指定港となった。
昭和34年（1959）	日ソ海運協定の中の寄港地に指定された。（日ソ貨物定期航路ジャパン・ナホトカライン平成20年（2008）まで）
昭和37年（1962）	石油配分基地用埋立地造成に着工（完成1964年）。
昭和40年（1965）	石油配分基地に4社30基のタンクを設置、隣接する国分港にタンカー専用岸壁が完成。
昭和40年（1965～昭和50年 ～1975）	県営上屋の建設、岸壁の改造（水深増）、臨港道路の築造、伏木港大橋の完成など港湾施設の充実。
昭和50年（1975）	日本－ロシア極東各港との定期配船指定港となった。
昭和54年（1979）	右岸に伏木指向灯を設置。
昭和61年（1986）	特定重要港湾に指定。伏木富山港港湾計画を承認。
平成元年（1989）	伏木外港建設着工。
平成 2年（1990）	伏木ポートルネッサンス21計画調査報告書を提言。
平成 5年（1993）	ロシアのウラジオストク港との客船就航。
平成 8年（1996）	伏木外港危険物取扱施設用地及び同施設岸壁完成。
平成 9年（1997）	伏木万葉ふ頭用地（A工区）完成。
平成10年（1998）	伏木万葉ふ頭（万葉1号・2号岸壁）供用開始。
平成11年（1999）	伏木港開港100周年。
平成12年（2000）	伏木外港で－12m岸壁を有する国際物流ターミナル建設着工。
平成14年（2002）	北防波堤（1,500m）完成。
平成15年（2003）	伏木外港の伏木万葉ふ頭緑地完成。
平成16年（2004）	臨港道路伏木外港1号線着工。
平成18年（2006）	国際物流ターミナル（万葉3号岸壁）供用開始。
平成20年（2008）	北防波堤延伸部（150m）建設着工。
平成21年（2009）	伏木港開港110周年。伏木外港1号線の一部供用と伏木万葉大橋の供用開始。
平成23年（2011）	日本海側拠点港ならびに総合的拠点港に選定。
平成24年（2012）	北防波堤延伸部（150m）完成。北防波堤総延長1,650m。
平成25年（2013）	万葉3号岸壁耐震改良工事着手。
平成28年（2016）	万葉3号岸壁耐震改良工事完成。
平成29年（2017）	万葉2号岸壁改良工事完成。（クルーズ船22万トン級の受け入れ可能）

History

746	Great poet Yakamochi Ohtomo arrived at his post as a local governor of the Etchu District(=Toyama prefecture). At that time the port was already being used.
1663	Designated by the Edo feudal government as one of the Japan's thirteen important ports.
1889	Designated as a special port for export. Rice, wheat, coal, sulphur etc. were principal export cargoes.
1894	Designated as a special trading port. Foreign trading with Russia's coastal regions, Sakhalin and Korea thrived. The trade with Russian for east coastal area, Sakhalin and Korea were busy.
1899	Designated as a general open port. Foreign ships often entered.
1912	Completion of the separation of the Shogawa River.
1921	Designated as a 2nd class important port.
1940	Annual cargo handling volume amounted 1.86 million tons, the largest in the Japan Sea Coastal area.
1951	Designated as an important port. The 3-year plan or improvement of Fushiki port started. Iwasakihana lighthouse (F.L.W5-1)was built.
1954	Appointed as a port of Plant Quarantine Station.
1959	Appointed as one of the port of calls under the Japan-U.S.S.R Marine Agreement.(Japan-Nakhodka Line Japan-U.S.S.R Cargo Ship Liner Service until 2008)
1962	Reclamation works for Oil Distribution Base was started. (Completed in 1964).
1965	Constructed 30 Oil tanks of 4 oil companies in oil distribution base. Tanker berths were completed in Kokubu Port.
1965/1975	Improved port facilities such as construction of public sheds, harbor roads, harbor bridge and improvement of berths.
1975	Appointed as a Liner Vessels' calling port between Japan and Russian Far-Eastern Ports.
1979	Lighthouse was built in right side of Fushiki port.
1986	Designated as a Special Major Port. Approval of Fushiki-Toyama Bay Port Planning Project.
1989	Construction of the Fushiki outer port started.
1990	Study report of Renaissance 21 at the port of Fushiki(Suggestion).
1993	A passenger ship to Vladivistok Port, Russia was put into service.
1996	Facilities of the dangerous object treatment lot and its wharf were completed.
1997	Fushiki "Manyofuto Berth" A-area construction was completed.
1998	Fushiki "Manyofuto Berth" (Man'yo Quay No.1,No.2)became available to use.
1999	The 100th anniversary of the port opening.
2000	Starting construction of a twelve meter international freight terminal.
2002	Completion of the northern breakwater construction (1,500m).
2003	Completion of Fushiki Port "Manyo Wharf Green Land" construction.
2004	Construction of the Fushiki Harbor roads of Fushiki Outer Port Route 1 started.
2006	The international freight terminal (Man'yo Quay No.3) was established.
2008	Construction began on the extension of the northern breakwater by 150m.
2009	The 110th anniversary of the port opening.Opening of Fushiki Manyo bridge and part of the Outer Harbour Route 1.
2011	Designated as a Maritime Hub on the Japan Sea Coast and a Specially Designated Major Port on the Japan Sea Coast.
2012	Completion of the construction on the extension of the northern breakwater. Total length now measuring 1,650 meters.
2013	Commencement of Earthquake-resistant construction work renovations on Man'yo Quay No.3.
2016	Completion of Earthquake-resistant construction work renovations on Man'yo Quay No.3.
2017	Improvement work at Manyo Quay No. 2 was completed (It can now receive 22,000-ton class cruise ships).

伏木港近辺の見どころ

国定公園雨晴海岸 義経伝説 ゆかりの地

万葉集に「渋谿（しぶたに）」と詠まれた雨晴海岸は、岩礁多く白砂青松の景勝の地。日本の渚百選の一つにも選ばれています。富山湾越しに3,000メートル級の立山連峰を望むことができます。

道の駅雨晴

様々な視点から雨晴海岸を楽しめるように、緩やかな階段でつながれたデッキ通路や展望デッキを整備しています。また、富山湾や高岡伝統工芸などの地域資源の魅力を発信する拠点としています。

雲龍山勝興寺 〈重要文化財〉

〔本堂の参拝ができます。本坊等は修理中。〕戦国時代、越中一向一揆の拠点となった、中世城郭寺院の威勢を今に示す風格を誇ります。“勝興寺の七不思議”は有名。勝興寺境内に、越中国庁があったとされます。

高岡市伏木北前船資料館 〈市指定文化財〉

廻船問屋の町家であり、望楼が残されている「旧秋元家住宅」。北前船の通商で栄えた伏木と周辺の村々の歴史や当時の水運の様子などを紹介します。

高岡市伏木気象資料館 〈登録有形文化財〉

わが国初の私立測候所として明治42年に建築された洋風木造建築であり、全国でも稀少な明治期から残る測候所の一つとして価値の高いものです。

高岡市万葉歴史館

高岡は奈良、飛鳥とならぶ万葉故地。映像や音で越中万葉の世界を紹介する常設展示や、『万葉集』をテーマとした展示、『万葉集』ゆかりの花木を植栽した庭などを楽しむことができます。また、『万葉集』に関する文献資料をそろえた『万葉集』研究のメッカともなっています。

伏木港案内図

高岡のまつり・イベント

伏木曳山祭（けんか山）〈市指定無形民俗文化財〉 5月15日

“けんか山”と呼ばれる、港町伏木の勇壮な祭り。昼は花山車。夜は提灯山車にその姿を変え、山鹿流出陣太鼓の囃子に合わせて、「かっちゃ」と呼ばれる激しいぶつかり合いを繰り広げます。平成27年5月にオープンした伏木コミュニティセンター（伏木会館）では、復元された十七軒町の曳山が常設展示されています。

高岡御車山会館での通年展示

高岡御車山祭 5月1日

高岡の金工・漆工等の工芸技術の粋を集めた豪華絢爛な7基の御車山が町を巡行します。重要有形民族文化財・無形民俗文化財の両方の指定を受ける全国5件のうちの1つであり、平成28年にはユネスコ無形文化遺産に登録されました。高岡御車山会館では、御車山を通年展示するほか、カフェやショップも備えています。

高岡七夕まつり 8月1日~7日

中心商店街一帯がたくさんの七夕で彩られます。色とりどりの短冊や吹流し、提灯などの七夕かざりが風にたなびく光景は、高岡の夏の風物詩です。

高岡万葉まつり「万葉集全20巻朗唱の会」 10月 第1金・土・日

万葉集全20巻4,516首の全てを2,000人を超える人達で三昼夜連続、リレー方式によって朗唱するイベントです。高岡古城公園の特設水上舞台で繰り広げられる朗唱の会は、全国からの参加者で賑わいます。

日本海高岡なべまつり 1月中旬

高岡で製造された直径2mを超える大鍋で、海の幸や地場野菜を豪快に煮込んだなべ料理が味わえます。

PORT of FUSHIKI 2018

伏木富山港シンボルマーク
Symbol mark of Fushiki-Toyama Port

平成30年6月 発行

伏木港海運振興会

（事務局）〒933-0104 高岡市伏木湊町13-1
（伏木コミュニティセンター1階）
高岡市産業振興部みなと振興課
TEL 0766-44-0484　FAX 0766-44-0048
E-mail minato@city.takaoka.lg.jp
高岡市HP http://www.city.takaoka.toyama.jp

伏木外港建設促進期成同盟会

（事務局）〒933-8601 高岡市広小路7-50
高岡市都市創造部土木維持課　河川・港湾係
TEL 0766-30-7288　FAX 0766-30-7289

〒933-0104 高岡市伏木湊町13-1
（伏木コミュニティセンター1階）
高岡市産業振興部みなと振興課
TEL 0766-44-0484　FAX 0766-44-0048

みなと振興課
メールアドレス

高岡市HP